

第三種電気主任技術者国家試験合格！

(科目合格者も複数！！)

今年度、本校からは10年ぶりに合格者ができました。科目合格者も複数おり、チーム電験として取り組んだ成果が現れました。

第三種電気主任技術者免状取得者とは

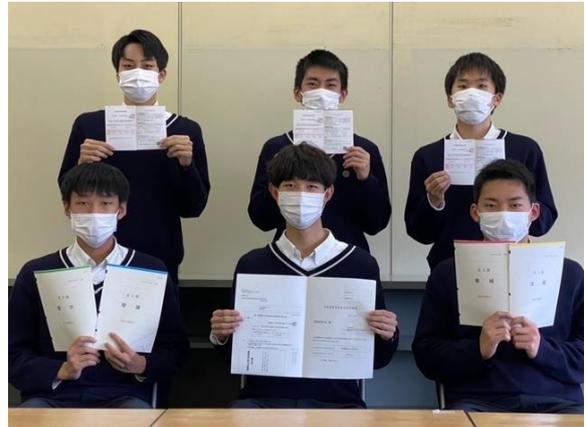
電気主任技術者として選任される電気施設の範囲が電圧 50,000V 未満の電気施設（出力 5,000kW 以上の発電所を除く。）の保安監督にあたることができます。

なお、第三種電気主任技術者免状取得者は、電圧 10,000V 以上の電気施設において5年以上の保安監督の実務を経験することにより、第二種電気主任技術者の資格を得ることができます。

全科目合格者（富 隆 輝）

きっかけは、高校1年生の頃、電気工学科の先生から電験三種の話があり、興味がわいて挑戦しようと思いました。一人では心細かったので、5人の友人を誘って補習に参加しました。しかし挑戦してみたものの、電験三種の難易度の高さに人数は3人となり、自分自身心が折れそうになった時期もありましたが、仲間や先生の支えがあり高校2年生の受験で1科目合格することができました。そこから勉強を続け高校3年生になると新しいメンバーが3人増え6人で勉強しました。放課後や

夏休みに、仲間と頭を抱えながら切磋琢磨するのが楽しかったです。合格してさらに電気の知識を深めたいと思いました。就職して仕事で活かせる資格が取得できてとてもうれしかったです。最後まで支えてくださった先生や仲間、両親への感謝の気持ちでいっぱいです。



科目合格者（岡崎 悠生）

私が第三種電気主任技術者を受けようと思ったきっかけは、先生方や友人に誘われ挑戦しようと思ったからです。2年生の時は1科目に力を入れ勉強をしてきました。それでもなかなか結果が出ずあきらめようと思ったこともありますが、あきらめず勉強をしてきました。その結果、理論科目に合格することができました。3年生の時は第三種電気主任技術者を受ける人数が増え、皆で協力しあいながら勉強をしてきました。結果、合格することはできませんでしたが、この勉強で協力することの大切さを学びこれからに活かしていきたいと思いました。

科目合格者（廣瀬 京太郎）

まず、第三種電気主任技術者試験を受けた理由は、電気についてもっと知りたいと思ったからです。2年生の時に1度チャレンジしようと思いましたが、部活動で忙しく勉強をする時間がなくあきらめることになりました。そして1年経ち、3年生になり部活動が落ち着いた際に、先生に声をかけていただいてチャレンジすることになりました。最初は理解できる問題がほとんどなかったのですが、先生のわかりやすい説明や、一緒に資格取得を目指している友人に教えてもらったりして頑張ることができました。結果は理論科目のみの合格だったのですが、この受験を通して勉強することの大切さを学び、また電気についても深く知ることができとても素晴らしい経験になりました。

科目合格者（田尾 文弥）

私が第三種電気主任技術者を受けようと思ったきっかけは、先生から話を聞き、友人に誘われたのでチャレンジしてみようと思い受験しました。2年生の頃に3人で受験をしたのですが、自分は1科目も合格することができず、他の2人は理論と法規の科目をそれぞれ合格しており、とても劣等感を抱いていました。3年生になり受験するか迷いましたが、一緒に受験した2人と新しく受験する3人に誘われてもう一度頑張ってみようと思い受験し、1科目だけですが合格することができました。1人では心が折れてあきらめていましたが、一緒に受験する仲間がいたから頑張ることができました。

科目合格者（坂元 悠星）

私が第三種電気主任技術者を受けたきっかけは、富君に勧められ受験しようと思いました。受験するにあたっての勉強は、学校での放課後補習や夏休み毎日を先生に補習していただきました。最初に問題を解いたときは、1つ解くだけで数十分かかってしまい、とても難しく心が折れそうになりました。ですが、問題を解いていくうちに正解できる問題が増え自信がつかってきました。受験結果は1科目合格でした。このことで勉強する習慣が身につきました。

がんばった！！（仲松 汰一）

私が第三種電気主任技術者を受けた理由は、富君に強く勧められて、受ける気はありませんでしたが、将来の就職先に必要であると思い受験しました。最初は難しくあきらめそうになりましたが、友人や先生に支えてもらい、また夏休みの期間ではほぼ毎日勉強し、わからないことがあればわかるまで聞き努力はしましたが、結果は1科目も合格できませんでした。しかし、普段の授業は理解できるようになったので受けてよかったです。